

平成7年1月～平成28年6月までに当センターにおいて

病理解剖をお受けになった患者さんのご遺族の方へ

(1) 研究の概要について

当センターでは下記の研究機関と共同で「剖検例を用いた遺伝子多型と老年病発症リスクとの関連解析」を実施しております。

悪性腫瘍（肺癌、胃癌、大腸癌、前立腺癌など）、心血管系疾患（脳梗塞、心筋梗塞、動脈硬化症など）、糖尿病、骨粗鬆症（大腿骨頸部骨折、椎体骨圧迫骨折など）、認知症、感染症などの疾患は高齢者での発症率が高く、老年病と称されます。老年病は遺伝因子と環境因子の両者が複雑に関連して起こると考えられています。喫煙、飲酒、運動、食事といった生活習慣に代表される環境因子が種々の老年病の発症に関係していることは良く知られた事実です。しかし、同じ生活習慣の人が同じように老年病リスクを持っているわけではありません。食事の中に含まれる種々の物質を代謝する酵素の働きは個人ごと異なりますが、この酵素の働きを決めているのが遺伝子多型です。この遺伝子多型と種々の老年病の発症との関連を検討する予定です。

具体的には平成7年1月～平成28年12月までに東京都健康長寿医療センター（旧東京都老人医療センターを含む）で病理解剖された方が研究の対象となります。病理解剖のご承諾の際に遺伝子検査を含む医学研究へのご協力にもご承諾いただいておりますが、改めて研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加をご希望されない場合や、また研究に関するご質問がある場合には、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究題名：「循環器疾患及びがんにおける血中Lp(a)濃度・KIV2 (Kringle IV 2) 多型の統合的な関連の探索」 「承認番号：R17-40」

研究期間：承認後から平成32年3月31日

研究責任者（所属・職名・氏名）

東京都健康長寿医療センター・病理診断科・部長

新井富生

研究分担者（所属・職名・氏名）

イムス三芳総合病院・臨床検査科・部長

田中雅嗣

東京都健康長寿医療センター・糖尿病・代謝・内分泌内科・非常勤医師

森聖二郎

東京医科歯科大学難治疾患研究所分子疫学・教授

村松正明

東京医科歯科大学分子病態検査学・教授

沢辺元司

三重大学基イノベーション推進機構・先端科学研究支援センター・研究員

小林裕子

自治医科大学情報センター兼医学情報学・臨床研究支援センター・准教授

三重野牧子

東京都健康長寿医療センター・健康長寿イノベーションセンター・専門副部長

田中紀子

東京都健康長寿医療センター・健康長寿イノベーションセンター・学術振興会特別研究員

山崎茉莉亜

国立国際医療研究センター研究所感染症制御研究部 特任部長
国立国際医療研究センター研究所感染症制御研究部・上級研究員
国立国際医療研究センター国立看護大学校・感染看護学・准教授

秋山 徹
竹本訓彦
森那美子

(2) 研究の意義・目的について

種々の遺伝子の遺伝子多型と老年病発症リスクを明らかにすることにより、上記老年病の発症リスクが高い人、生活習慣を改善することにより老年病の発症リスクを減らすことができる人が明らかになります。これらのことが分かると、リスクの高い人には生活習慣の改善を勧めたり、早期発見に努めるよう検診を受けるよう助言することができるようになり、老年病の予防、早期発見につながります。

なお、解析結果についてはまだ研究段階であり、個別に結果はお知らせいたしませんので、予めご了承ください。

(3) 研究の方法について

通常、病理解剖中に採取した組織からDNAを抽出して、調べようとする遺伝子の塩基配列を明らかにし、老年病発症との関連を統計学的に検討します。

(4) 研究に用いる試料・情報の種類

研究に用いる試料：病理解剖で得られた腎・食道・脾組織等から抽出したDNA

研究に用いる情報：年齢、性別、疾患の有無、喫煙歴、飲酒歴

(5) 外部への試料・情報の提供方法

遺伝子解析のため、冷蔵状態のDNAを宅配便で以下の研究担当者に送付する。

国立国際医療研究センター研究所感染症制御研究部・特任部長 秋山 徹

国立国際医療研究センター研究所国立看護大学校・感染看護学・准教授 森那美子

(6) 資料の保管と、他の研究への利用について

本研究を行うときには、個人情報とは完全に分離した形で扱っておりますので、患者さんの個人情報が漏れる心配はありません。また、国内外に研究の成果を論文・学会等で発表する場合も、個人の特定はできないようにしております。他の研究への利用はありません。なお研究終了後のデータの扱いについては、論文の根拠となるデータは発表後10年間保管します。保管責任者は主任研究責任者とし、保管場所については東京都健康長寿医療センターの所定の棚において施錠可能な状態で保管します。

(7) 研究の資金源および利益相反

本研究は、科学研究費補助金特別研究員奨励費および科学研究費補助金若手研究費（B）（課題番号18K15055）によって行われます。本研究に関し、企業等、法人との利益相反は研究責任者、分担者ともにありません。また、東京都健康長寿医療センターのみならず、共同研究機関である国立国際医療研究センター利益相反マネジメント委員会にもその利益相反の状況に関しては報告し、その指示のもと適切に管理されています。

(8) 問い合わせ先

東京都健康長寿医療センター病理診断科 新井富生

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35-2

電話 03-3964-1141 内線 2410 (平日 9:00~17:00)